

平成30年度(2018年度)

管理事業名	<b>農地事業</b>				総合計画の 体系	第5章 第2節	環境を守り育てるまちづくり 自然と共生するまちづくり	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 06	農業費	(項) 01	農業費	(目) 04	農地費	
部局名	下水道部	予算執行所属		水循環室				
予算大事業名 農業用水路維持管理事業 農業用施設局部改良事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
<b>事業の目的と概要</b> 農業用水路維持管理事業 農業用水の安定確保、防災効果の早期実現を図るため、農業用水路、ため池の適切な管理及び改修等を推進する府下協議会等への協力金を負担するとともに、農業用水路の維持管理に必要な原材料を購入します。また、ため池決壊による被害の軽減を図るため、『ため池ハザードマップ』の作成を行います。								
農業用施設局部改良事業 農業用施設の適正な機能面、安全面の確保等を目的に施設の改良を行います。また、水利組合等へ積算、工事等の支援を行います。								

**I 事業の成果(実績)**

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
成果の説明					農業用水路、ため池の適切な管理及び機能維持に寄与しました。

**II 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	2,376	2,376
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	2,376	2,376
給与関係費	2,141	2,145	2,159	14
物件費	26	29	2,405	2,376
維持補修費	171	200	200	0
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	100	100	100	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	185	188	196	8
退職手当引当金繰入額	150	140	169	29
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	2,774	2,801	5,228	2,427
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△2,774	△2,801	△2,852	△51
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△2,774	△2,801	△2,852	△51
一般財源充当額	2,818	2,861	2,885	24
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	44	60	32	△27

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費 2,159千円
物件費	ため池ハザードマップ作成業務 2,376千円 図書購入「土地改良工事積算基準」等 29千円
維持補修費	維持管理用原材料費 200千円
負担金・補助金・交付金等	大阪府土地改良事業団体連合会一般賦課金 80千円 大阪府ため池総合整備推進協議会会費 20千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	2,376	2,376
行政サービス活動支出	2,818	2,861	5,261	2,400
行政サービス活動収支差額	△2,818	△2,861	△2,885	△24
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△2,818	△2,861	△2,885	△24
一般財源充当額	2,818	2,861	2,885	24
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	188	196	8
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	188	196	8
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形流動資産	-	-	-	固定負債	2,035	1,994	△40
事業用資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	2,035	1,994	△40
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	2,222	2,190	△32
固定資産	-	-	-	純資産	△2,222	△2,190	32
インフラ資産	-	-	-				
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

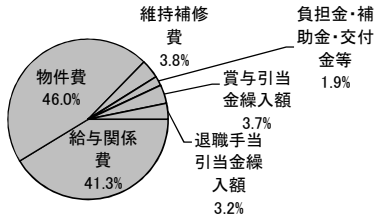
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	0.3人				2,524
給与関係費等	2,524千円				2,524
内、時間外勤務手当	0千円				

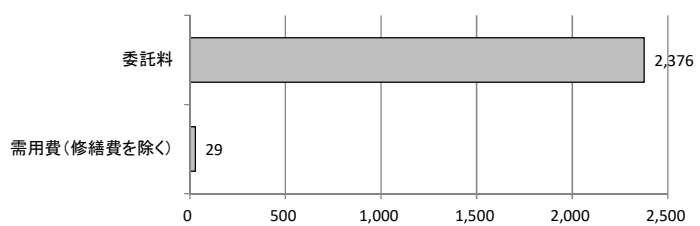
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	54.8	△ 45.2

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費2,405千円(46.0%)、給与関係費2,159千円(41.3%)、賞与引当金繰入額188千円(3.7%)、維持補修費200千円(3.8%)、負担金・補助金・交付金等100千円(1.9%)となっています。物件費の内訳としては、ため池ハザードマップ作成業務2,376千円、図書購入「土地改良工事積算基準」等29千円です。また、ため池ハザードマップ作成業務につきましては、府支出金が100%充当されています。人にかかるコストの内訳の給与関係費等の欄は、給与関係費、賞与引当金繰入額及び退職手当引当金繰入額の合計です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

農業用水路、ため池の適切な管理とともに、その機能維持を間接的にサポートする事業であり、事業成果の指標を具体的に示すことが困難であるため、今後も府下協議会等と情報を共有し、事業内容を確認する必要があると考えています。また、『ため池ハザードマップ』の作成については、府の補助等を活用していきます。